

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 精子産生における生殖細胞移動の役割
2. 研究代表者： 原 健士朗（東北大学 大学院農学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、精子の形成・成熟における生殖細胞の移動現象の役割解明を目的とし、精細管基部における精原細胞の遊走、及び精巣上体管内腔における未成熟精子の移動に着目し、生殖細胞の移動履歴と精子への分化・成熟との関係性を検証するものである。フェーズ 1 では、様々な試行錯誤を重ねていることは認められるが、当初の目的である細胞の運動と精子の品質に関連する研究の進捗に遅れが認められる。また、得られた研究成果を積極的かつ早期に論文化することが求められる。フェーズ 2 の研究計画についても当初の目的を達成するための具体的な説明が不足しているため、フェーズ 2 では、細胞の運動と精子の品質の因果関係を示すための緻密な実験計画の策定及びその実施に注力いただきたい。

以上